

ドクターに聞きました

かすみ目を生じる病気

「白内障」の原因と治療法

ある程度の年齢になると皆が経験する「かすみ目」について話してみます。テレビでも「かすみ目」の目薬のコマーシャルをよく目にします。この場合のかすみ目の原因は老眼や疲れ目であることが多いようです。老眼とは眼の調節力の低下による近方視障害のことで、簡単に言うと眼のピントを合わせる力が落ちてきて近くのものが見にくいということです。

「かすみ目」を生じる病気は老眼を含め多々ありますが今回はすべての高齢者に関係があると言っても過言でない「白内障」について述べてみます。眼の中にある水晶体が濁った状態を白内障と呼びます。原因は何であれ水晶体が濁れば白内障です。水晶体はカメラでいえばレンズにあたるところです。白内障で目

がかすむということを経験するが、かすむという言葉をカメラに例えようならば「汚れたレンズではきれいな写真は撮れない」ということになります。白内障の原因は数多くあります。糖尿病やリウマチのような病気やステロイドのような薬、外傷、紫外線、放射線等々原因を挙げていけばざりざりありますが、その90%以上は年齢によるものです。白内障の症状は「目がかすむ」「眩しい」「物がダグッて見える」など様々です。

「白内障」の治療法

治療法は大きく分けて2つです。一つは薬物療法、もう一つは手術療法です。先にも述べましたが白内障の大多数は年齢からのものです。はっきり言えば年齢から来るものは薬では治りません。白内障の治療薬は白内障の進行を多少遅くしてくれるものと理解してください。現時点で白内障の最も有効な治療は手



医療法人
浦田診療所 院長
浦田 康先生

略歴

久留米大学医学部卒業
九州大学医学部附属病院眼科
佐賀医科大学附属病院（現 佐賀大学医学部附属病院）眼科
国立小倉病院（現 国立病院機構小倉医療センター）眼科
新小倉病院眼科等に勤務
趣味はゴルフ

医療法人浦田診療所
北九州市小倉北区木町4丁目
3-20 ☎093-561-0555

術療法といつて良いでしょう。現在の白内障手術は2.5〜3mm程度の切開で白内障を超音波で壊しながら吸引する超音波水晶体乳化吸引術で行うことがほとんどです。出血もごくわずかです。水晶体はカメラで言えばレンズにあたる場所です。これを取ってしまうので、すから代わりのレンズを挿入することになります。挿入するレンズの度数によりピントの位置もその方その方の生活に

述べてきましたが、目がかすむ病気はいろいろあります。眼底出血や緑内障、加齢黄斑変性症などが隠れている場合もあります。自分は老眼だからとか自分は白内障だからとか自己判断せず年に一度は眼科を受診されることをお勧めします。

きるだけ合うように合わせることができきます。レンズの素材はアクリルやシリコンが多いようです。また特殊なレンズとしては多焦点レンズや乱視矯正レンズなどもあります。手術の時期、どこにピントを合わせるか、どのようなレンズを挿入するかなど、それぞれのメリットデメリットもありますので主治医とよく相談されることをお勧めします。今回は「かすみ目」白内障を中心に